

総合共通科目

(2015～2018 年度入学生)

学是 (学則第1条の2)		本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学是とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる人材を育成する。					
スポーツ学部の人材養成及び教育研究上の目的等 (学則第3条の4)		スポーツ学部及びスポーツ学科は、学是「自律処行」の精神に基づき、幅広い教養を身につけ、かつ専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者を養成することを目的とする。		卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー：DP)		本学は、学是「自律処行(自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する)」を体現し、総合的な教養、特定専門分野に関する知識を身につけ、深い考察力を備えることを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針(DP)を3つの領域(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性)から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 【知識・技能】キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。 【思考力・判断力・表現力】本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。 【主体性・協働性】自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。	
				教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー：CP)		本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針(DP)の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。 【教育内容】1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。 【教育方法】1. 学生の主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。 【教育評価】1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に従い単位を付与する。2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	
スポーツ学部のカリキュラム						卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕	
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	芸術の世界	1-2・前	19～21世紀にアジアの美術家が制作した美術作品を鑑賞することで、植民地の歴史や近代国家の成立、宗教や文化の特色について理解を深める。授業では毎回5～10点の絵画や彫刻をスライドに写し、学生が作品の主題や表現様式、作品から受ける印象や作者が何を伝えようとしているのかについて意見を述べる。作品が制作された時代背景について知ることで、より深い解釈ができるようになることを目指す。	美術作品の主題や様式に注目しながら作品を鑑賞する方法を身に付けることができる。作品から自分が感じたことを言葉で説明することができるようになる。コメントカードやグループワークを通して、作品には多様な解釈があることを知る。アジアの近代史、植民地やナショナリズム、風俗や文化について社会人として基礎的な知識を身に付けることができる。現代アジアの多様な文化や社会問題について考えを深めることができる。	○	◎	◎
総合共通科目	芸術の世界	1-2・後	私たちは日々、様々な写真を撮影、観賞しています。数多くある写真の中で、「芸術」とは何か、どのように「楽しむ」ことができるのでしょうか。本授業では、様々な時代、ジャンルの写真を見ることを通して、写真を中心とした芸術作品との関わり方、楽しみ方を考えます。また、写真だけでなく、関連する芸術概念や写真論、様々なジャンルの作品を紹介します。	・作品について、自らの言葉で説明することができる。・授業で得た知識や他者の意見を踏まえて、自分の考えをまとめることができる。・写真の歴史、性質を理解し、写真によって伝えることを実践できる。・芸術との自分なりの関わり方、楽しみ方を見つけることができる。	○	◎	◎
総合共通科目	歴史を考える	1-2・前後	私達が経験から学んで未来に生かすように、社会でもそうありたい。これが教育の場で歴史を学ぶ一つの大切な理由です。歴史とは幾多の人々の人生が織りなす壮大な織物であり、私達はこれを知り考えることにより、様々なことを学び得ます。本授業では、なぜ歴史を学ぶのか、歴史とは何か、いかに歴史と関わるべきか、ということと共に考えていきます。発掘調査の実務経験から「過去の痕跡」を扱う考古学を取上げるなど実践的分野や方法論にも触れるので、自ら考えて自らの答えに到達しようとする積極的姿勢で授業に臨んでもらいたいと思います。	授業の際には以下の5項目を念頭に、自らの研鑽をめざして参加してください。1) 歴史は暗記ものという認識を改め、歴史とは人間社会の歩みの総体であると認識できる2) 私達自身が歴史の土台の上に存在し、自らが歴史の主体(主人公)であると理解できる3) 日常生活において、身近な郷土の歴史に関心をもち、歴史への知的好奇心を持てる4) 社会生活において、歴史という人類共通の遺産を大切に受け継いでいく意識を持てる5) 授業では、知識を得るのみならず様々な考え方や価値観を認め、自らの思考力を養える	○	◎	
総合共通科目	法と生活	1-2・前後	「社会あるところ法あり」という言葉が表すように、人間が集まり一定の社会が形作られるとそこには一定のルールが必要になります。また、社会と一口に言っても、家庭、学校、職場(労働)、経済取引、医療現場、スポーツなど、様々な部分的な社会の場面が考えられます。この講義では、そのような具体的な場面を例に取りながら、実際に生活の中でどのように法が関わっているのかを学び、学生がこの先社会生活を営む中で役に立つ知識を涵養し、それらを活かすことができるように考える力を身につけていきます。	①学生が社会生活を営む中で直面しうる問題を認識できる。 ②それらに対して法的にどのように対応しうるのかを知り、理解できる。 ③これらの知識を別の事例にも応用していく能力を身につける。	◎	○	

スポーツ学部のカリキュラム					卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕		
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	科学を考える【物理】	1-2・前	初等中等教育で学ぶ「物理」は「物理学」の領域に絞り込んだ形で学ぶことが多い。しかしながら身近な所(生活様式全般)から先端科学技術の領域に至るまで、物理の範疇は「化学・学・生物」を含んだ広大な領域になっている。社会で・世間で起こる様々な事象を物理の眼で理解することは、大学生の教養力として不可欠な要素の一つになる。物理化学・化学物理学・生物物理学・物理生物学等を含む学際領域についても知り、学ぶことが目的である。 ※地球物理学・宇宙物理学の領域は「宇宙の科学」の内容なのでここでは取り扱わない。	日常生活で体感していることを物理の言葉で説明できる。化学・生物が物理と密接に関連していることを、具体例を挙げて説明できる。 エネルギーという言葉が「体内における作用」にも関与していることが説明できる。 スポーツと物理の関係性から、競技を「物理の眼」で理解することができる。	○	◎	○
総合共通科目	科学を考える【生物】	1-2・後	「人」が社会で活動する時に必要な情報としての「人体の仕組みと働き」を取り上げる。食生活、健康、医療など、あふれすぎた情報に惑わされて、物事の本質を見逃してしまうことが少なくない。食や健康の話題を通じて、人間の社会活動に必要な生物学を学ぶ。	1) 三大栄養素(糖質・脂質・タンパク質)の代謝過程における相互関係について説明できる。 2) 「エイズウィルスはなぜ怖い」、「ホルモン投与の危険性」などよく耳にする事柄について、誰にでもわかるように説明できる。 3) 分子生物学の今後について、考察できるようになる。	○	◎	
総合共通科目	科学を考える【化学】	1-2・後	初等中等教育で学ぶ「化学」は「化学式」「化学反応式」などの「化学語」が中心にあり、特殊な科目とみられることが多い。しかしながら身近なところ(実生活)から先端科学技術や医療の領域に至るまで、化学は「物理・生物・環境」を含めた広い領域で必要とされる分野になっている。社会で・世間で起こる様々な事象を化学の眼で理解することは、大学生の教養力として不可欠な要素の一つである。建造物や衣料品、流通など一見「化学」とは縁遠いような物も化学目線で見ると理解しやすいものもある。複合的に化学を学ぶことが目的である。	1. 日常生活で体感していることを化学の言葉で説明できる。 2. 物理・生物が化学と密接に関連していることを、具体例を挙げて説明できる。 3. 食と健康の関係が化学であることを理解し、簡単な言葉で説明できる。 4. 素材の違いが製品の違いや性質の違いに結び付くことを、例を挙げて説明できる。	○	◎	○
総合共通科目	生命と環境	1-2・前後	生命体はその種を問わず、日々の環境の中で生活している。望ましい生活環境は種によって異なるので、自然保護活動が自然環境破壊に繋がることもある。この講義では生物に求められる環境とはなにか、環境の変化によってどういった影響が及ぶのかなど、生物と環境の関係について身近な話題を素材として学んでいく。その上で「人間にとっての環境」がいかに地球環境を破壊しているのかについても実感を伴う形で学んでいく。	生活環境と科学の関連性を説明できる人間の社会活動が生命体の生存環境に影響を与えていることが説明できる人間にとって有益なことが害悪となって返ってきていることを例を挙げて説明できる	◎	◎	○
総合共通科目	英語Ⅲ	2・前	本科目では、英語Ⅰおよび英語Ⅱで固めた基礎を土台として、日常生活で使われる英文の理解をさらに深め、運用できる力を4技能を通してバランスよく涵養することを目指す。授業で学んだ文法事項を使い、日常生活で使える英文の作成や日常生活に関わる200-300語程度の長文理解のための学習を行います。英語圏諸国の基本的文化理解も適宜行います。	修得した文法知識や表現方法を使って日常的に使われる英文や、やや複雑な英語表現を理解することができ、簡単な英文を作成することができる。また学習によって得られた知識を基に200-300語程度の英文を読解することができる。英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。	◎	◎	○
総合共通科目	英語Ⅳ	3-4・後	本科目では、英語Ⅰおよび英語Ⅱで固めた基礎を土台として、日常生活で使われる英文の理解をさらに深め、運用できる力を4技能を通してバランスよく涵養することを目指す。授業で学んだ文法事項を使い、日常生活で使える英文の作成や日常生活に関わる200-300語程度の長文理解のための学習を行います。英語圏諸国の基本的文化理解も適宜行います。	修得した文法知識や表現方法を使って日常的に使われる英文や、やや複雑な英語表現を理解することができ、簡単な英文を作成することができる。また学習によって得られた知識を基に200-300語程度の英文を読解することができる。英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。授業で学習した問題において、得点の60%程度の取得を目指す。			

スポーツ学部のカリキュラム					卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係【◎特に関係する ○関係する】		
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	フランス語Ⅰ(再履修用)	1・前	初心者を対象にしたフランス語です。基礎フランス語文法、初歩のフランス語会話表現を講義します。フランス語の仕組みを説明した後、フランス語の文章を読み、CDでフランス人の発音を聞き、練習問題を行います。また、実際に受講生同士あるいは教員との会話練習を通してフランス語でのコミュニケーションを実践します。講義ではフランス文化も紹介し、異文化に対する理解を深めます。	1. フランス語の文章を音読することができる。2. 自己紹介や物を説明するなど、平易な会話をフランス語で行うことができる。3. 動詞êtreやavoir、規則動詞の活用、形容詞、冠詞、疑問文、否定文などの練習問題に答えることができる。		◎	◎
総合共通科目	フランス語Ⅱ(再履修用)	1・後	フランス語Ⅰで学んだことを復修しつつ、基礎フランス語文法、初歩のフランス語会話表現の知識を増やしていく講義となります。フランス語の仕組みを解説した後、文法の練習問題を行い、Cdでネイティブの発音を聞きながら、耳をならしていく作業を行います。また、受講生同士あるいは教員との会話練習を通してフランス語でのコミュニケーションを実践します。講義ではフランス文化も紹介し、異文化に対する理解を深めます。	1. フランス語の文章を音読することができる。2. 質問をし、答えるという会話をフランス語で行うことができる。3. 重要な動詞や助動詞の活用、所有形容詞、疑問形容詞、補語人称代名詞などの練習問題に答えることができる。		◎	◎
総合共通科目	キャリアデザインⅡ	3・前	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。前期授業のキャリアデザインⅡでは、夏季インターンシップへの参加を目指します。	①自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査により自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	○	◎
総合共通科目	キャリアデザインⅡ	3・前	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。前期授業のキャリアデザインⅡでは、夏季インターンシップへの参加を目指します。	①自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査により自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	○	◎
総合共通科目	キャリアデザインⅡ	3・前	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。前期授業のキャリアデザインⅡでは、夏季インターンシップへの参加を目指します。	①自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査により自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	○	◎
総合共通科目	キャリアデザインⅡ	3・前	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。前期授業のキャリアデザインⅡでは、夏季インターンシップへの参加を目指します。	①自己分析(夏季インターンシップのためのエントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査により自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	○	◎

スポーツ学部のカリキュラム					卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕		
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	キャリアデザインⅡ (再履修用)	4・前	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。また、グループワークに取組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	○	◎	○
総合共通科目	キャリアデザインⅢ	3・後	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路(教員・公務員・スポーツ就職希望者は除く)を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。後期授業のキャリアデザインⅢでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。	①自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査による自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	◎	○
総合共通科目	キャリアデザインⅢ	3・後	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。後期授業のキャリアデザインⅢでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。	①自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査による自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	◎	○
総合共通科目	キャリアデザインⅢ	3・後	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り、社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。後期授業のキャリアデザインⅢでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。	①自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査による自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	◎	○
総合共通科目	キャリアデザインⅢ	3・後	この授業は自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。就職先などどこだっていいと考えるのではなく、厳しい就職戦線を戦ってでも自らが望む企業・職業を勝ち取り社会人のスタートを希望する場所からスタートするために皆さんの就職活動を強力にサポートします。後期授業のキャリアデザインⅢでは、学内で実施される業界研究や学外での就活イベントで差別化できる意欲・能力の習得を目指します。	①自己分析(履歴書・エントリーシート作成)ができる ②グループディスカッションでのロール体験ができる ③論理的思考力が取得できる ④適性検査による自己理解ができる ⑤インターンシップのためのレディネスを取得することができる ⑥チームビルディング(人と協力して成果を上げる力)を取得することができる	◎	◎	○
総合共通科目	キャリアデザインⅢ (再履修用)	4・後	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。また、グループワークに取組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。	1) 将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。2) 問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3) 自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4) 働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5) 参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	○	◎	○

スポーツ学部のカリキュラム					卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[◎特に関係する ○関係する]		
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	スキルアップ講座A 【ITパスポート】	3・後	情報化社会という概念が生まれた頃、情報技術はそのままIT(Information Technology)と呼ばれていたが、現在ではICT(Information and Communication Technology)と表現され、情報技術の役割や内容も大きく変化している。独立行政法人・情報処理推進機構が実施する国家試験ITパスポート試験は、情報化社会を生き抜いていくための情報技術の基礎的知識を測るものである。本科目では、ITパスポート試験の頻出テーマを題材に、「情報社会を生きる社会人としての常識」をレクチャーと演習により身につけていく。	① 情報社会の現状および趨勢を理解し、情報社会における自らのスキルレベルを明確に自覚 することができる。② 自らの情報スキルレベルを向上させることへのモチベーションを高めることができる。③ ITパスポート試験の過去問題に対して60%以上正答することができる。	◎	○	○
総合共通科目	スキルアップ講座D 【教員養成Ⅰ】	3・後 期集 中	本科目は、将来、保健体育科教員を志望する学生に対して、夏期および冬期等に、教員採用試験の専門教養(保健体育)試験対策、実技試験対策、面接及び模擬授業等の対策、最新の教育事情の解説等を集中で行い、能力の向上を図ることを目的とする。	①自ら教員採用試験の情報を収集し、その対策を思考することができる。②積極的に学修したり、実技に取り組んだり、仲間と協力したりすることができる。③保健体育科教員の職業を理解し、“良い保体科教師”になろうとする姿勢を身に付ける。	◎	○	◎
総合共通科目	スキルアップ講座E 【教員養成Ⅱ】	4・前 期集 中	本科目は、将来、保健体育科教員を志望する学生に対して、教員採用試験までに、教員採用試験の専門教養(保健体育)試験対策、実技試験対策、面接及び模擬授業等の対策、最新の教育事情の解説等を集中で行い、能力の向上を図ることを目的とする。	1 自ら教員採用試験の情報を収集し、その対策を思考することができる。2 積極的に学修したり、実技に取り組んだり、仲間と協力したりすることができる。3 保健体育科教員の職業を理解し、“良い保体科教師”になろうとする姿勢を身に付ける。	◎	◎	◎
総合共通科目	スキルアップ講座F 【マナー・プロトコール検定】	3・前	「マナー」や「プロトコール」の基本は、「しきたり」や「形式」以前のあり方です。日常生活の中で育む他者への配慮と自分自身を律する心遣いこそがもつとも大切であり、そうした考え方や習慣を身につけておくことで社会人としての人生そのものが豊かで、実りのあるものとなります。本講では正しいマナーを身につけ、「マナー・プロトコール検定試験」3級合格を目指します。担当者は、様々な企業や大学で研修講師、マナープロトコール講師の実績があり、この経験をもとに授業を展開します。	マナー・プロトコール検定試験3級の資格を取得(履歴書にも記載できる)することができる。自分の立ち居振る舞いに自信がもてるようになり、人間関係がスムーズに行なえ、コミュニケーション力を高めることができる。マナーを学ぶ事を通して、社会人に求められる知識・技能・態度等を身につけることができる。マナーの歴史を知ることにより、日本文化をより深く理解できる。			
総合共通科目	スキルアップ講座G 【公務員養成Ⅰ】	3-4・ 前	・公務員の職種、業務を正しく理解する。・公務員になるために必要な知識を習得し、それをアウトプットできる能力を養成する。	・論理的思考を身につけ、問題解決に実践できる。・数的処理能力を身につけ、問題を数値モデル化できる。	◎		○
総合共通科目	スキルアップ講座H 【公務員養成Ⅱ】	3-4・ 後	・前期スキルアップ講座Gの発展的講座として、より高い数的処理能力の養成とともに、公的奉仕者となり得る人間力を養成する。	・数的処理を通じて、高い現場学習能力を身につけることが出来る。・問題に対して、道筋を立て、解決することが出来る。	◎	○	

スポーツ学部のカリキュラム					卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係[◎特に関係する ○関係する]		
科目区分	授業科目名	配当年次・学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	スキルアップ講座I 【健康関連資格Ⅰ】	3・後 期集中	この科目は、健康関連資格のうち、実技系統のGFI(REI,SEI,ADI,AQWL,AQDI,WFI)・健康運動実践指導者をを目指す者に対して、スキルの向上を図るものである。各資格の実技試験対策、筆記試験対策を行うものである。なお、現予定ではGFI種目のWFIは別途対応であるが、希望者数しだいでは時間数を変動させることとする。ルーブリックによる成績評価基準を用いる(資格・種目により異なる)。	有酸素運動を最適な説明とともに実践できる。レジスタンス運動を最適な説明とともに実践できる。ストレッチングを最適な説明とともに実践できる。すべての健康運動実践に生かせるだけの知識を有する。健康運動の基礎を最適な説明とともに実践できる。	◎	◎	○
総合共通科目	スキルアップ講座J 【健康関連資格Ⅱ】	3・4・ 後	この科目は、健康関連資格のうち、認定要件が筆記試験のみである健康運動指導士を目指す者に対して、知識の向上を図るものである。想定試験問題の作成を課し、討論することもある。	健康運動指導士認定試験に確実に合格するレベルの実力を身につける。	◎	◎	○
総合共通科目	スキルアップ講座K 【AT養成Ⅰ】	3・4・ 前	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格取得に向けた知識の習得を目指す。	アスレティックトレーナーに必要な基礎知識を習得することができる。	◎	○	
総合共通科目	スキルアップ講座L 【AT養成Ⅱ】	3・4・ 後	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格取得に向けた知識の習得を目指す。	アスレティックトレーナーに必要な基礎知識を習得することができる。	◎	○	